



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
 コード番号 5911 URL http://www.ybhd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 中岡 康次 TEL 03-3453-4116
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,595	3.7	1,815	△0.4	1,910	△0.2	1,276	△1.3
2020年3月期第1四半期	29,510	△11.1	1,822	△11.1	1,914	△11.2	1,294	△9.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,554百万円 (551.4%) 2020年3月期第1四半期 392百万円 (△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	30.84	—
2020年3月期第1四半期	31.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	151,761	93,686	60.0	2,201.22
2020年3月期	152,583	92,048	58.6	2,159.88

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 91,121百万円 2020年3月期 89,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	68,000	6.2	5,500	15.9	5,500	13.6	3,700	13.5	89.38
通期	147,000	6.4	13,000	0.9	13,000	0.2	9,050	0.5	218.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	45,564,802株	2020年3月期	45,564,802株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,168,914株	2020年3月期	4,168,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	41,395,918株	2020年3月期1Q	41,357,357株

(注)自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として所有する当社株式を含めて記載しております。
(2021年3月期第1四半期末 60,000株、2020年3月期末 60,000株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
売上高、受注高及び受注残高(連結)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①受注高

橋梁事業につきましては、厳しい受注環境が続く中、当社グループの受注高は196億円（前年同期比47.0%増）となりました。主な受注工事といたしましては、東日本高速道路・下万田高架橋、横町高架橋、西日本高速道路・関門橋主ケーブル改良工事、埼玉県道路公社・三郷流山橋などがあります。

エンジニアリング関連事業につきましては、システム建築事業は前年同期比横這いにとどまりましたが、土木関連事業のトンネルセグメントの案件などを積み重ねたことにより、事業全体の受注高は132億円（同20.0%増）となりました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業の受注が好調でありましたため、受注高は13億1千万円（同90.5%増）となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期における受注高は341億2千万円（同36.4%増）となり、前年同期を上回りました。

②経営成績

当第1四半期における売上高は305億9千万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は18億1千万円（同0.4%減）、経常利益は19億1千万円（同0.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億7千万円（同1.3%減）と、前年同期とほぼ同水準の実績となりました。以下事業別に記載いたします。

(橋梁事業)

橋梁事業につきましては、豊富な手持ち工事が順調に進捗しましたため、売上高は第1四半期としては過去最高の193億3千万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は第1四半期としては前年同期に続く過去2番目の14億5千万円（同16.1%減）となりました。

(エンジニアリング関連事業)

エンジニアリング関連事業につきましては、売上高は99億5千万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は3億7千万円（同64.0%増）となりました。システム建築事業の採算改善により増益となりましたが、同事業の業績は前期からの受注の低迷が影響し、まだ本格回復には至っておりません。新型コロナウイルス感染症の影響下、工場建設関係には一部先送りの動きが見られますものの、倉庫建設関係には大型案件の引合いも多く、全体としては堅調な市場環境を維持しておりますので、第2四半期以降は業績目標の達成に向け、受注量の拡大に努めてまいります。

(先端技術事業)

先端技術事業につきましては、受注の増加により、売上高は11億3千万円（前年同期比30.6%増）、営業利益は1億8千万円（同105.1%増）と何れも前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億2千万円減少し、1,517億6千万円となりました。流動資産は、「現金預金」が減少し、「受取手形・完成工事未収入金等」が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ32億3千万円減少しました。一方、固定資産は、株価の上昇等により投資その他の資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ24億1千万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ24億5千万円減少し、580億7千万円となりました。その主な要因は、「支払手形・工事未払金等」と「未払法人税等」が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億3千万円増加し、936億8千万円となりました。これは「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上や株価上昇による「その他有価証券評価差額金」の増加等によるものです。この結果、自己資本比率は60.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、前回（2020年5月14日付け）公表いたしました予想値から変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、国内工事の中断等もほとんどなく現時点では軽微であります。予断を許さない状況が続いておりますが、今後見通しの修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	22,769	18,184
受取手形・完成工事未収入金等	65,666	66,847
たな卸資産	2,748	2,849
その他	2,709	2,777
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	93,891	90,657
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,200	15,200
その他（純額）	21,677	22,052
有形固定資産合計	36,877	37,252
無形固定資産	1,156	1,285
投資その他の資産		
投資有価証券	13,935	15,756
その他	6,721	6,809
投資その他の資産合計	20,656	22,565
固定資産合計	58,691	61,104
資産合計	152,583	151,761

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	20,345	17,774
1年内償還予定の社債	50	50
1年内返済予定の長期借入金	3,300	300
未払法人税等	2,192	723
未成工事受入金	2,361	2,800
工事損失引当金	4,851	4,576
賞与引当金	2,513	3,781
その他の引当金	62	62
その他	2,701	2,151
流動負債合計	38,378	32,220
固定負債		
社債	2,300	2,300
長期借入金	6,200	9,200
役員退職慰労引当金	625	609
株式報酬引当金	47	54
退職給付に係る負債	11,168	11,301
その他	1,815	2,389
固定負債合計	22,156	25,854
負債合計	60,534	58,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,185	10,185
利益剰余金	69,592	70,039
自己株式	△3,612	△3,612
株主資本合計	85,600	86,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,650	4,914
土地再評価差額金	159	159
その他の包括利益累計額合計	3,810	5,073
非支配株主持分	2,638	2,565
純資産合計	92,048	93,686
負債純資産合計	152,583	151,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	29,510	30,595
売上原価	25,540	26,649
売上総利益	3,969	3,946
販売費及び一般管理費	2,147	2,131
営業利益	1,822	1,815
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	160	159
持分法による投資利益	4	3
その他	7	8
営業外収益合計	172	173
営業外費用		
支払利息	22	22
前受金保証料	20	17
団体定期保険料	15	15
その他	22	22
営業外費用合計	80	77
経常利益	1,914	1,910
特別利益		
固定資産売却益	1	—
受取保険金	63	3
その他	0	0
特別利益合計	65	3
特別損失		
固定資産処分損	0	45
関係会社株式評価損	22	—
特別損失合計	23	45
税金等調整前四半期純利益	1,957	1,868
法人税等	630	576
四半期純利益	1,326	1,291
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,294	1,276

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,326	1,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△934	1,263
その他の包括利益合計	△934	1,263
四半期包括利益	392	2,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359	2,540
非支配株主に係る四半期包括利益	32	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,297	11,169	868	174	29,510	—	29,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,297	11,169	868	174	29,510	—	29,510
セグメント利益	1,737	227	90	98	2,153	△331	1,822

(注) 1. セグメント利益の調整額△331百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,335	9,959	1,134	166	30,595	—	30,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,335	9,959	1,134	166	30,595	—	30,595
セグメント利益	1,458	372	185	98	2,115	△300	1,815

(注) 1. セグメント利益の調整額△300百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

売上高、受注高及び受注残高(連結)

期 別	前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	
区 分	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	
売上高	橋梁事業	17,297	19,335	2,037	81,230
	エンジニアリング関連事業	11,169	9,959	△1,210	52,934
	先端技術事業	868	1,134	265	3,290
	不動産事業	174	166	△7	689
	合 計	29,510	30,595	1,085	138,144
受注高	橋梁事業	13,333	19,604	6,270	69,404
	エンジニアリング関連事業	11,003	13,207	2,203	51,175
	先端技術事業	689	1,312	623	3,746
	合 計	25,025	34,123	9,098	124,326
受注残高	橋梁事業	109,402	101,809	△7,592	101,541
	エンジニアリング関連事業	45,391	47,045	1,654	43,798
	先端技術事業	867	1,681	814	1,503
	合 計	155,660	150,537	△5,123	146,843

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。